



瑞中だより

学校だより 第 8 号

平成29年 9月 26日

瑞穂町立瑞穂中学校

〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1

TEL 042-557-0070

『集団としてのさらなる高みへ』

第三学年 修学旅行担当 藤田 基紀

中学校生活三年間の集大成ともいえる修学旅行が幕を閉じました。終わってしまうと、あっという間のできごとのように感じます。

事前学習は近畿地方の地理・歴史について、社会や総合の時間に、DVD や地図などを使用し、まずは修学旅行のイメージをもつところから始まりました。今年度の修学旅行は夏休みが明けて二週間後、ということもあり、夏休み前に終わらせなければならないことが多く、慌ただしい中で準備が進んでいきました。各クラスで選出された班長が実行委員となり、ルール決めを行っていくうえで、今まで達成することができなかった「不要物の持ち込みをなくす」ということに実行委員は力を入れていました。夏休みが明けてからも目まぐるしく準備が進んでいきました。特に班別行動計画は何度も練り直し、毎日のように班長は放課後に残って調整をするような状態でした。

いよいよ当日を迎え、全員が予定の電車に乗り、最初の難関「新横浜駅乗車時間1分」をクリアし、無事初日の目的地奈良へ到着しました。興福寺での集合写真を撮り終え、班行動が始まりました。まるで真夏のような日差しの中、観光客があふれる土曜日の奈良公園を鹿とたわむれながら、それぞれの計画に沿って進みます。予想外の暑さに、多めの休憩や水分補給に時間がかかるなど計画通りに行動できない場面もありましたが、見学時間を調整するなどして、全員が無事に京都へ向かう電車に乗り御殿荘へ到着することができました。聖護院御殿荘は京都を代表する、由緒正しい旅館です。立派な門構え、趣のある庭園を眺めながらつかる足湯、各部屋でとる食事など、日常とは違う空間に感動し興奮する姿が印象的でした。

二日目の班行動は京都散策愛好会の方々にガイドしていただきました。地元の方ならではの話を聞きながらの見学は貴重な体験です。教科書や資料集、DVD を見ただけでは感じられない神社仏閣の荘厳さや豪華さ、静けさに実際に触れて感じることができました。特に「金閣があんなに金色とは思わなかった」「二条城、眩しすぎる…」「銀閣、『ザ、日本』ですね」といった感想を多く聞きましたが、『百聞は一見にしかず』ということを改めて学んだのではないのでしょうか。

三日目のクラス行動は、バスに乗りガイドの方の話聞きながら比較的のんびり過ごせたような気がします。クラスで行動しているという安心感が生徒からも伝わってきました。最後の一日をクラスで過ごせたことは修学旅行のしめくくりとして、クラスの絆を感じられる瞬間だったと思います。

一年生のスキー教室、多摩巡り、二年生の職場体験や横浜、校外での学習はこの修学旅行が最後です。大きな違反やトラブルもなく無事に終わることができました。一方では、ルールやマナーに対してまだ自分に甘えがある部分も見受けられます。しかし、各クラスの実行委員が自分たちで考えて動き、集団をまとめあげることができたのは大きな成長だと感じます。各行事の反省を活かし、ただ楽しいだけではなく、集団としての成長を感じられる行事になったと思います。それぞれの課題や成果を次につなげ、最高学年としての誇りをもって残り半年を過ごしてくれることを期待します。

最後になりましたが、修学旅行にあたり、保護者の皆様にはご協力いただき心より感謝申し上げます。生徒たちの今後の活躍にもぜひご期待ください。

◎瑞穂中学校は「いじめ」を許しません！

いじめに限らず、何かありましたら学校へご相談ください。電話 042-557-0070

◎不審者に十分気を付けましょう。何かあったら、まず、「110番」！

☆福生警察生活安全課より

先輩や知らない人から頼まれて、物や現金等を受け取る行為、これは、実は“振り込め詐欺”の受け子の仕事。何の罪の意識ももたないで犯罪に巻き込まれることがあるそうです。十分注意しましょう。

トピックス



<往路 開式 新横浜駅>



<奈良 東大寺南大門>



<奈良 公園>



<奈良 二月堂>



<京都 宿舎 絵付>



<京都 作品>



<京都 夕食>



<京都 係会議>



<京都 二条城>



<京都 伏見稲荷>



<京都 龍安寺>



<復路 京都タワー 昼食>

☆ご家庭でも積極的に進めてください

- ◆「STOP 22!!」22時以降は、スマホ等の使用をやめましょう。

☆お客様の肖像使用について

- ◆本校では、学校の広報活動の一環として授業・学校行事・部活動等の生徒の様子を写真に撮り印刷物やホームページに掲載する等の活用をさせていただきます。保護者の皆様には予めご承諾賜りたくお願い申し上げます。尚、ご承諾頂けない場合は、その旨担任にお申し出ください。

☆子どもの虐待について

- ◆しつけと称する暴力、子の人格を否定するようなことば、無視や過度な放任も虐待に含まれます。家庭・学校・地域が一体となって、心身共に健全な子どもを育成していきましょう。